

お詫びと訂正

『改訂2版 病院前新生児蘇生法テキスト』にて誤りがありました。読者の皆さま、関係者の皆さまにお詫び申し上げますとともに訂正いたします。

第2章「新生児蘇生に必要な基礎知識」

「7 新生児の評価」

p.33 表2-4「Dubowitz法」上から3段目「角窓」イラスト

※正しくは以下のとおりです。

表2-4 Dubowitz法（神経学的所見）

神経学的所見 \ 点数	0	1	2	3	4	5
肢位						
角窓						
足首の背屈						
上肢の戻り具合						
下肢の戻り具合						
膝窩角						
かかと一耳試験						
スカーフ徴候						
頭のすわり						
腹囲宙づり						

[Dubowitz LMS, et al. Clinical assessment of gestational age in the newborn infant. J Pediatr. 77 (1), 1970, 1-10 より改変]

第3章 「アルゴリズム」

「STEP6 人工呼吸と胸骨圧迫」

p.73 1行目～

【誤】 胸骨圧迫が必要な児には、人工換気 3 回に対して 1 回の胸骨圧迫比で蘇生処置を行う。1 サイクルは 2 秒間で行うので、1 分間に人工換気 90 回、胸骨圧迫 30 回を行う。

【正】 胸骨圧迫が必要な児には、胸骨圧迫 3 回に対して人工換気 1 回の胸骨圧迫比で蘇生処置を行う。1 サイクルは 2 秒間で行うので、1 分間に胸骨圧迫 90 回、人工換気 30 回を行う。